

5 視察結果の概要

		ア 鳥取市立湖南学園（視察：令和3年1月27日）	イ 日野町立日野中学校区（視察：令和3年9月27日）	ウ 倉吉市立上北条小学校（視察：令和3年11月19日）
校 種		義務教育学校	中学校区（小学校2、中学校1）	小学校
児童・生徒数(R3年度)		147名	日野中学校46名、根雨小学校48名、黒坂小学校24名	135名
学校運営協議会	設置単位	義務教育学校区	中学校区（小学校2、中学校1）	小学校区
	設置時期	平成30年9月	平成31年4月	平成28年4月1日
	委員人数	14名（任期1年）	15名（任期2年）	7名（任期1年）
	委員構成	・会長＝元PTA会長 ・委員＝地域代表(自治会役員など)、児童委員、公民館職員、PTA役員、学識経験者、地域学校協働活動推進員、地元保育園園長、校長、副校長、教頭	・会長＝前ひのっこ保育所長 ・委員＝地域代表、保護者代表、ひのっこ保育所、日野高校、構成する3校の代表(日野中・根雨小・黒坂小)、地域学校協働活動推進員、CSディレクター（元PTA）	・会長＝地域コーディネーターとして継続的に学校行事等に参画いただいている方を互選 ・委員＝自治公民館・地区公民館・関係機関・青少年団体等の代表者や関係者、保護者、民生児童委員、地域コーディネーター、保護者、社会教育委員、学識経験者
	開催回数	3回/年（開催前に作業部会が開かれる）	6回/年	4回/年
	協働・取り組み例	・協議事項：基本方針と重点目標の設定について、子どもの安心安全の確保について、地域に根ざした学園づくり ・取組例：学園運営協議会研修会（年1回）、アンケートの実施	・学校からの報告、説明に対する審議と基本方針の承認 ・学校の課題やその解決方法についての協議 ・熟議（2040年問題と学校・地域の取組について等）	・学校からの報告、説明に対する審議と基本方針の承認 ・支援体制の整備（学習・生活支援、環境整備、登下校など安全確保、合同行事の開催） ・地域の次世代育成及び教育力の活性化等地域づくりのための活動の検討 ・学校からのさまざまな問題に対する相談について協議、対応 ・学校関係者評価
地域学校協働本部	構 成	地元自治会中心	・次に記載の各団体で構成する地域学校協働本部運営委員会を組織して活動 ・PTA、社会教育委員会、スポーツ推進委員、社会福祉協議会、青少年育成会、図書館、公民館、ボランティアネットワークなど地域の活動団体	実働部隊として、主たるリーダーの下で各活動が行われている。
	地域学校協働活動推進員	・設置あり ・職名＝事務局長（元PTA会長が就任）	・設置あり ・職名＝地域学校協働活動推進員（元PTA）	推進員としての委嘱はしていないが、地域コーディネーターが担っている。
	主な活動	・特設教科「拓」 地域の方と協働した探究学習。湖南地区の歴史・自然・文化・産業・人々について探究的な学習を通して、地域や自己の生き方を考え未来を拓く学習について9年間を通じ体系的に実施。 ・子どもの安心・安全の確保に伴う防災の取組（自然災害等緊急時情報提供訓練の実施・組織づくり・地域への働きかけ、登下校見守り） ・コミュニティ・スクール新聞発行 ・学校カフェ開催 ・授業サポートボランティア ・公民館事業を学校で開催。保護者講演会中に工作教室実施	・地域の人と学校（地域学校協働本部と学校運営協議会）とがめざす子ども像を共有した上で、地域の自然や歴史、日野町のよさを感じ、誇りを持ち、町の未来を創っていかうとする意欲と態度を育成する。 ・学習支援：ゲストティーチャー、読み聞かせ ・学校行事に係る支援：校内マラソン見守り、田植え・稲刈り支援 ・教育環境整備：除草作業 ・子ども教室の開催（放課後、夏休み、冬休み、春休み） ・あいさつ運動（各校校門での登校時のあいさつ運動、啓発物品作成・配布）	・菜の花プロジェクト ・上北条小学校「30周年イルミネーション」「高校生との交流活動」 ・登下校の見守り ・米作りを行い、餅つき大会をしてできた餅を75歳以上の高齢者のところに子ども会が中心になり子どもたちが配布 ・環境整備 ・読み聞かせ
特 徴	・学校と地域にこの取組が理解され、定着しつつある。 ・地域学校協働活動推進員が地域学校協働活動のコーディネート役として活躍。 ・地域の方と協働した探究学習について、9年間を通じ体系的に実施。 ・中心市街地から離れた中山間地に立地。	・中学校区（小学校2、中学校1）で1つの学校運営協議会のため、町全体でめざす子ども像を共有し子どもの育成について協議できる。 ・町内の主だった団体で構成される地域学校協働本部運営委員会で情報共有と連携を図りながら地域学校協働活動を実施している。 ・中学校区（3校）で1つの学校運営協議会を設置していることから、CSディレクターが学校間の調整等を行っている。 ・町教育委員会の伴走支援もあり、熟議で地域課題をテーマに取り上げるなど地域づくりにつながる取組が行われている。	・長年の地域と学校との連携の積み重ねにより、子ども達の成長を地域社会総がかりで支えることが根付いている。 ・学校に隣接するコミュニティセンター（公民館）と連携しやすい。 ・古くからの住民と入れ替わりのある新たな住民が混在する地区。	

	エ 鳥取県立岩美高等学校（視察：令和4年6月6日）	オ 鳥取県立白兔養護学校（視察：令和4年6月27日）
校 種	高等学校	特別支援学校
児童・生徒数(R4年度)	167名	154名
学校運営協議会	設置単位	学校単位
	設置時期	令和3年4月1日
	委員人数	10名（任期1年 再任あり）
	委員構成	<ul style="list-style-type: none"> ・会長＝委員の互選により選出。岩美高等学校の元校長が選出されている。 ・委員＝岩美町内の小中学校の校長又は教頭、社会福祉法人職員（学校の実習先）、商工会会員企業代表、まちづくり団体代表、岩美町教育委員会事務局職員、岩美高等学校PTA会長、校長、事務長
	開催回数	2回/年
	協働・取り組み例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの報告、説明に対する審議と基本方針の承認 ・ 学校の魅力化・特色化 ・ 広報・情報発信 ・ 地域学校協働活動
地域学校協働本部	構 成	岩美まちづくりの会、岩美町商工会、岩美町教育委員会、岩美高等学校(名称：4者協議会)
	地域学校協働活動推進員	岩美町教育委員会の予算によるコーディネーターを配置(視察時は募集中の段階)
	主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩美町観光PRポスター共同制作(生徒が作画等) ・ 岩美町による公営塾 ・ 探究学習（地域の企業と協働の商品開発等）
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩美町内唯一の高等学校であり、岩美町、商工会、まちづくり団体等と非常に良く連携が取れている。 ・ 学校の教育目標や地域課題について、学校と行政、商工会やまちづくり団体が熟議を重ねる場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢や居住地の異なる児童生徒が在籍し、12年間の系統的な教育課程の中に地域との体験的な関わりを重視した教育活動を盛り込んでいる。 ・ 学校運営協議会の設置以前から、地域と連携した特色ある教育活動を進めてきた経緯があり、末恒地区の一員として、白兔養護学校と地域とがお互いに支え合う関係性が構築されている。